

《ご復活、それは希望》

ご復活おめでとうございます。(英語・スペイン語・ポルトガル語・ベトナム語・韓国語・インドネシア語・タガログ語で) 皆様、今のその笑顔を保ちながら私の説教を聞いて下さい。

今日栄光の賛歌を歌う前に、聖週間の間祭壇上の十字架を覆っていた紫の布が取り外されました。しかし、ご復活された今もイエス様は相変わらず十字架につけられたままです。どうしてでしょうか？ それについて話し合いたいです。

使徒パウロがコリントの信徒にあてた手紙の中で「私達が宣べ伝えているキリストの十字架は、ユダヤ人にとっては躓かせるもの、異邦人にとっては愚かなものです」(コリント1・1・23)と書いているように、実際2000年前に十字架につけられたイエス様のことを考えてみますと、これは完全に常識に逆らう事件でした。

ユダヤ人たちは昔から神様からの奇跡を求めていました。この方こそ待ち望んでいた救い主だと思い、心をこめて従おうとしたイエスという人物が結局十字架につけられたということは、自分たちが騙されたこととなります。彼らにとってはイエス様の無能力を示すことでした。そして、異邦人たちは(ギリシャ人やローマ人等、初代キリスト教の共同体が宣教しようとしたユダヤ人以外の周辺の国の人々)いつも物事を論理的に考えて結論を出す習慣がありました。彼らの論理ではイエスの十字架の死というのは理解できない、納得できないことでした。やさしく言えば、ユダヤ人にとっては気に障るもの、異邦人にとっては筋道が通らないもの、これが十字架でした。

ところで、私達にとってこの十字架は何でしょうか？ なぜ復活祭を迎えたのに私は十字架の話をしているのでしょうか？ それには訳があります。復活というものはあの十字架なしに考えることは絶対できません。そういう意味で四旬節を一生懸命過ごしましょうと何回も何回も繰り返し皆様に言ったのです。この40日間どのような心で生きてきたかによって、今日のこのミサで、具体的に皆様の心の中で復活したキリストを体験することができるかが決まります。皆様よく考えて下さい。十字架というものは私達の感覚でも常識に逆らうことです。全知全能の神、すべてのことがなんでもできる方がご自分が創った人間によって殺されたのです。そのような無能力にも見える救い主に私達が従うのはなぜなのかという質問に対して、十二分に語るができます。

この十字架に真理が隠れているのです。復活とは何でしょうか？ 皆様にとってどういう意味を持っているのでしょうか？

復活は一言でいえ「希望」です。このミサを通して皆様の心の中で「希望」が生じたかどうかで復活の体験ができたかが決まります。皆様お願いします。「希望を持って下さい」何の希望でしょうか？ 変わってしまう希望でしょうか？ いいえ、そうではなく、イエス様が教えようとした「美しい道」その道を私達も生きるという希望です。二日前に私は皆様にお願ひしましたね。外面的なことではなく内面的に格好良くなりましょう。一日、一時間、一分でも意味を捜すそういう生き方をしましょうと。テレビに出ている有名な俳優や歌手を格好いいと言いますね。しかしその人達の生き方を私達は知りません。それでは格好いいとは言えません。顔というものは変わります。「変わらないものが格好いい」そういう人になることが私達の役割です。必ずなれます。身体が不自由でも、お金がなくても、その人その人に合う素晴らしさ美しさを見せることができます。今まで自ら躓いて「私は何もできない。この世の中は美しくない。人生はおもしろくないし、生きる意味はない」と言っていた人が「そうではなかった。イエス様が見せた真実の生き方が自分にもできる」そういう希望を持てるようになるのが十字架、そして復活です。ですから復活したイエス様がそのまま十字架にかけられているのには訳があるのです。復活する前の十字架とその後の十字架はそれを見る私達の目が全く違

います。復活の希望の体験ができた人にとっては、あの十字架は美しく見えます。その体験ができなかった人にとっては悲しく、愚かに見えます。「なぜ、なんで」ということになってしまうでしょう。

神の子であるあの方が約束した復活の生き方を見せて下さらなかつたら、私達がここ(教会)にいる理由がありません。結局、信仰の道は十字架を抱きしめて復活を望む歩みです。この十字架と復活を別々にして考えるのは偽りです。十字架を負わずに「私は復活の体験をしている」と言うのはうそです。復活の意味もイエス様の生き方の意味もわからないことになります。

笑顔を見せて下さい。この笑顔を持って生きましょう。背中に十字架を背負っていてもこの笑顔をおれないで下さい。それが復活の体験です。皆様の胸の中をよくご覧になって下さい。“希望”というものが見えますか？ 必ずあります。絶対譲ることのできない“希望”がそれぞれの胸の中に必ずあります。それに答えなければならない。がんばりましょう。良く生きましょう。それが復活されたイエスさまへ私達ができる一番大きいうれしいプレゼントになると思います。

最後にもう一度挨拶させて頂きます。「ご復活おめでとうございます」

お互いにもう一度挨拶を交わしましょう。

「ご復活おめでとうございます」

ありがとうございました。